What' bout［製品解説］

DX超合金RVF-25メサイアバルキリー（ルカ・アンジェローニ機）をさらに理解するために、「マクロスF（フロンティア）」に関する重要なキーワードを確認しておこう。

L.A.I Engineering

L.A.I技研

統合政府および新統合政府の庇護の下、大小の公的機関や企業が軍事兵器の研究・開発を行っている。異星人のオーバーテクノロジー(OTM)を研究する国際機関OTEC、可変戦闘機シリーズのエンジン開発を行う新中州重工、さらに新星インダストリーやゼネラル・ギャラクシーといった可変戦闘機開発メーカーなど、多くの組織が多種多様な技術や製品をリリースし、人類の銀河系進出を支援しているのである。その中のひとつ、L.A.I技研とはマクロス・フロンティア船団に拠点を持つ総合機械メーカー。マイクロマシンからフォールド・システムまで手掛け、フォールド断層を突破可能な新型フォールド・システムの開発も担当している。また新星マクロス・フロンティア工廠との共同で、主力可変戦闘機VF-25メサイアを開発。さらに激化するバジュラとの戦闘に対処すべく、フォールドクォーツを利用した新型兵器(MDE:マイクロ・ディメンジョン・イーター)弾頭の開発にも成功した。

LUCA ANGELONI

ルカ・アンジェローニ

マクロス・フロンティア船団 フロンティア1に設置された、美星学園高校航宙科に通う少年。早乙女アルトやミハエル・ブランとは同学年だが、実は1年飛び級している。その実力はコンピューターや軍用電子機器の扱いについて天才的なセンスを発揮することからも明らかだが、外見はまだ幼さの残る少年である。そんなルカだが、実はS.M.Sスカル小隊に所属しており、コールサインは「スカル3」。電子戦に特化したRVF-25を駆り、主に後方からの支援行動を担当している。また総合機械メーカーL.A.I技研の技術開発部顧問の肩書を有し、VF-25の開発にも関係している。S.M.Sが新統合軍以上の最新試作装備を保有しているのはルカのコネクションに因るところが大きい。その一方、激しさを増すバジュラとの戦いにおいて、新統合政府が主導する極秘任務(フォールド・クォーツを利用したバジュラの外部コントロール作戦)に協力しているが、ルカとしては不本意と感じている部分もあるようだ。

RVF-25 MESSIAH VALKYRIE

RVF-25 メサイアバルキリー

新統合軍護衛艦隊主力機として開発された「VF-25 メサイア」は高い汎用性を誇る一方、用途に応じて数種のバリエーション機が開発された。高機動のドックファイトに最適化された「VF-25F」、長距離狙撃に特化した「VF-25G」、小隊指揮官用のスペシャルチューン機「VF-25S」などがある。その中で「RVF-25」は電子戦能力を強化したタイプとして知られる。外装オプションユニットである「AP-SF-01イージスパック改」を標準装備したRVF-25は後方支援を主任務としており、戦闘空域の情報収集や索敵、入手した情報の即時分析といった早期警戒管制機として役割を果たす。特に索敵能力は同等の機体と比較しても群を抜いており、フォールドクォーツをシステムの中核に据えることで最大半径1光日の範囲をリアルタイム索敵する。この能力は戦闘支援にも利用され、最大2048もの対象を同時識別し、最大128の標的に対してミサイルを誘導可能。さらにフォールドクォーツから発せられるフォールド波を通信波に応用することで、最大6機(通常は3機)の無人戦闘機QF-4000ゴーストを同時誘導・管制できる。

※画像はイメージです。
※機体解説・データは、作品中のものです。

セット内容

■ 取扱説明書(本書)

RVF-25メサイアバルキリー(ルカ・アンジェローニ機)リニューアルVer.本体

ルカ・アンジェローニフィギュア

ガンポッドジョイントA

ガンポッドジョイントB

シールドジョイント

ナイフ

ガンポッド

レドームパーツ

ファイター用支柱

バトロイド用ジョイント

アームA

アームB

ガウォーク用支柱

台座

交換用手首

拳手首	武器用手首	手刀手首
左 / 右	左 / 右	左 / 右

※取扱説明書の画像には試作品を使用しております。
※取扱説明書の画像と商品とは、多少異なりますのでご了承ください。

矢印一覧

取り付けます。 Attachable

取り外します。 Removable

可動します。 Movable

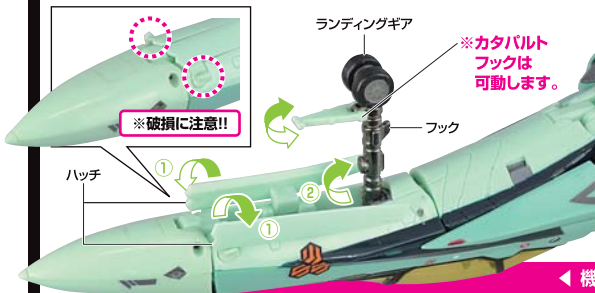
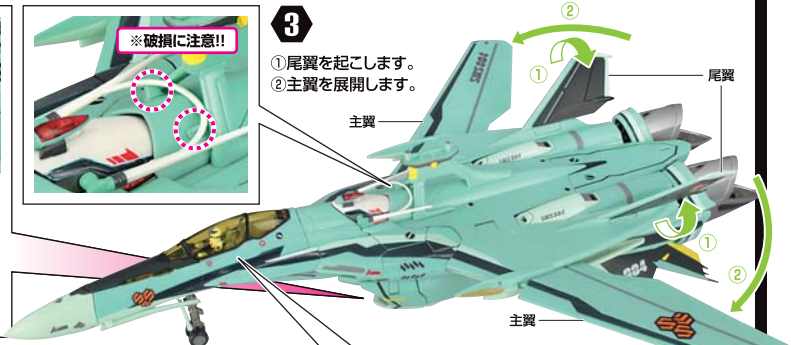
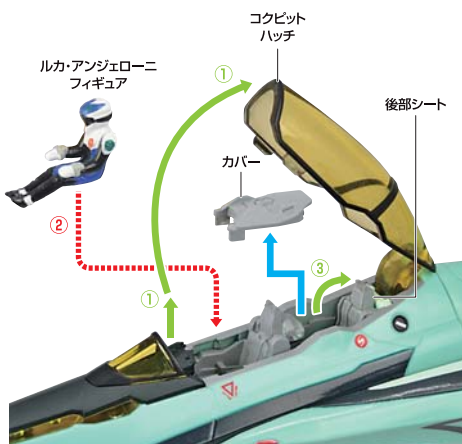
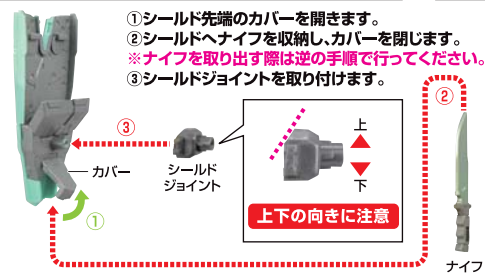
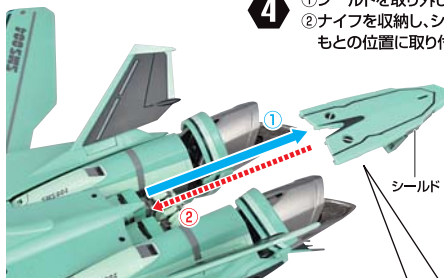
⚠注　意 **お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。**

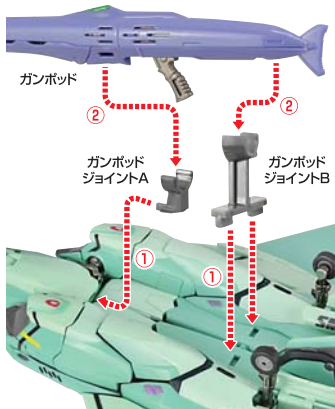
●本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
●小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
●尖った部分や鋭い部分がありますので、取扱や保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。
●可動部の隙間には指などを入れないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。

《 使用上の注意 》
●本商品は精密に作られています。無理な力を加えたり、落としたりすると破損するおそれがあります。
●関節部分を曲げたり回転させたりする時に、無理に動かすと彩色がはがれるおそれがありますので注意してください。
●本商品を樹脂製のソファーやシート、タイルなどの上に置かないでください。長時間接触していると色が移る場合があります。
●本体・部品を箱に戻す場合は、袋に入れてから戻してください。

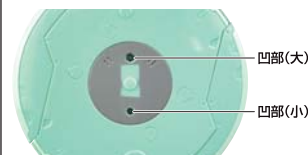
ファイター形態の組み立て方 ※箱に入った状態から始めます。

注意 変形時にダイキャストの部分が他の部分に当たったり擦れたりすると、ボディの塗装がはがれるおそれがありますので注意してください。

①シールド先端のカバーを開きます。
②シールドへナイフを収納し、カバーを閉じます。
※ナイフを取り出す際は逆の手順で行ってください。
③シールドジョイントを取り付けます。

①コクピットハッチを画像の矢印のように開きます。
②ルカ・アンジェローニフィギュアを搭乗させます。
③操縦席後部のカバーを取り外し、後部シートを起こすことができます。

ガンポッド
②
②
ガンポッド
ジョイントA
ガンポッド
ジョイントB
①
①

5 本体へガンポッドジョイントA・Bを取り付け、ガンポッドを取り付けます。

◀ 機体底面画像 ▶

凹部(大)
凹部(小)

※凸部と凹部の形状に合わせて取り付けてください。

凸部(大)
凸部(小)

レドームパーツ

「ディスプレイ」はP.13を参照

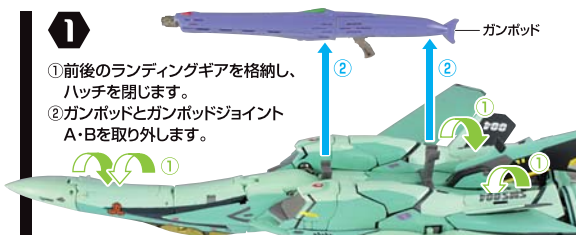
6 レドームパーツを取り付けます。

完成!!

ガウォーク形態への変形 ※ファイター形態完成の状態から始めます。

1

①前後のランディングギアを格納し、ハッチを閉じます。
②ガンポッドとガンポッドジョイントA・Bを取り外します。

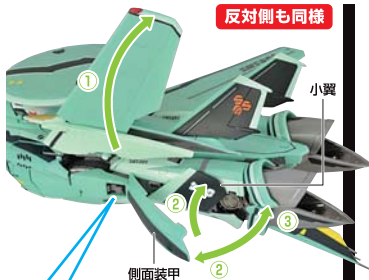
ガンポッド
②
②
①
①
①

◀ 機体底面画像 ▶

2

①主翼を引き上げます。
②脚部の側面装甲を開き、小翼を収納します。
③脚部の側面装甲を閉じます。

反対側も同様

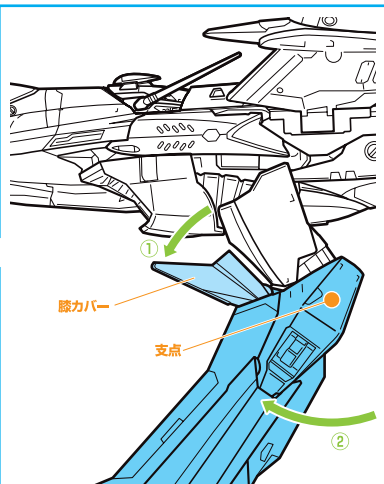
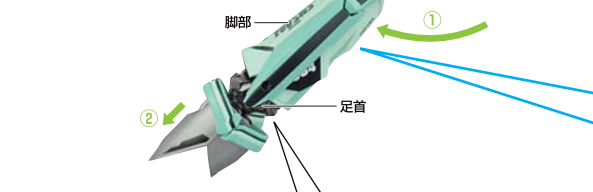
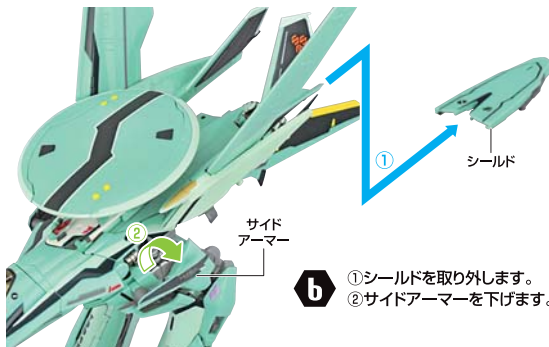
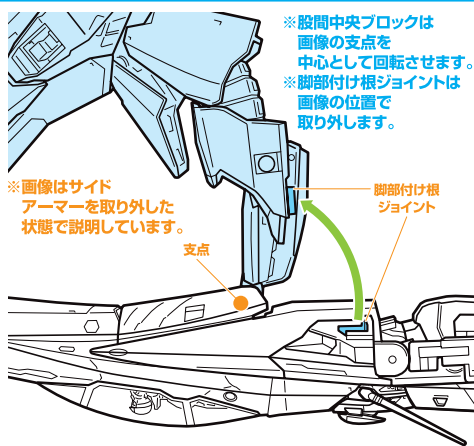
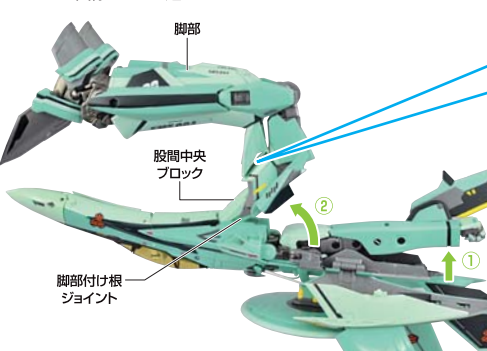
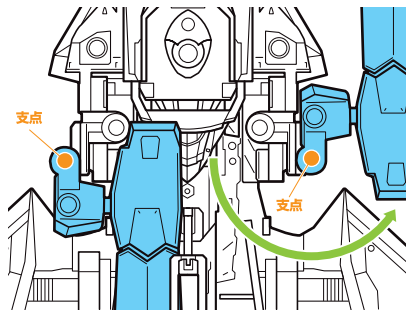
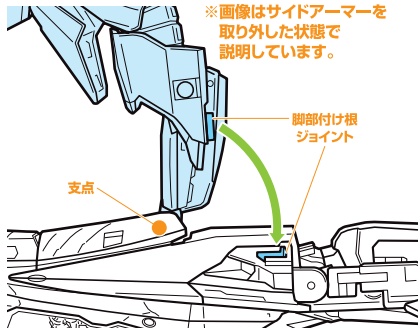
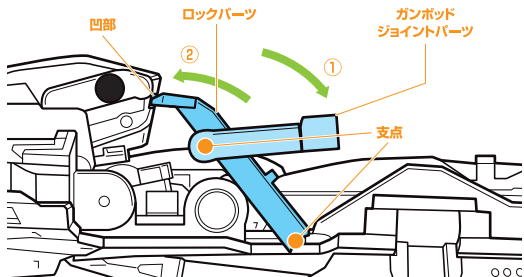
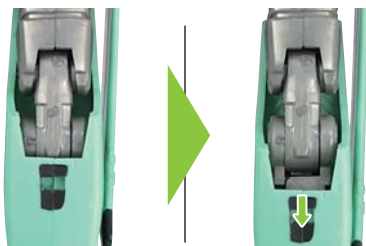
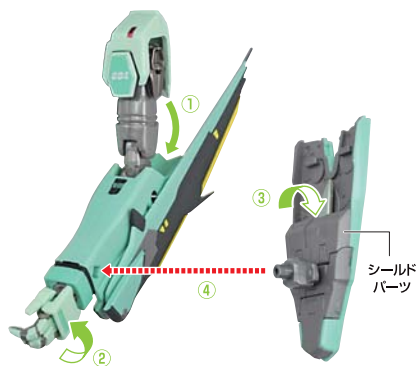
小翼
①
②
③
②
側面装甲

凸部
※主翼は脚側面ジョイントに固定されています。
主翼を引き上げるときは凸部を外し、可動させてください。
※主翼を固定するときは、主翼の凸部を脚側面ジョイントへはめ込み固定します。
脚側面ジョイント

3

①脚部を脚部付け根を軸に矢印の方向に回転させます。
②膝関節を引き出します。

支点
※両脚部は画像の支点を中心として回転させます。

膝関節
脚部付け根
①
②

※膝関節は引き出すことで画像のようになります。

4
①膝を軸に脚部を回転させます。
②足首を引き出します。
膝
脚部
①
②
足首
※足首は引き出すことで画像のようになります。
①
膝カバー
支点
②
①膝カバーを画像の矢印の方向へ回転させます。
②両脚部は画像の支点を中心として回転させます。
5
つま先とかかとを開きます。
※もう片方の脚も同様に❷～❺を行います。
つま先
かかと
①
シールド
②
サイドアーマー
b
①シールドを取り外します。
②サイドアーマーを下げます。
7
①両腕部を少し引き上げます。
②両脚部付け根ジョイントを外し、脚部を股間中央ブロックごと画像のように起こします。
脚部
股間中央ブロック
②
①
脚部付け根ジョイント
◀ 機体底面画像 ▶
※股間中央ブロックは画像の支点を中心として回転させます。
※脚部付け根ジョイントは画像の位置で取り外します。
※画像はサイドアーマーを取り外した状態で説明しています。
支点
脚部付け根ジョイント

8
両腕部を肩ジョイントを軸に前方まで回転させます。
肩ジョイント
◀ 機体底面画像 ▶
※腕部は画像の支点を中心として回転させます。
支点
支点
◀ 機体底面画像 ▶
9
胸部付け根ジョイントを
もとの位置に取り付け、
ロックパーツを
股間中央ブロックにセットします。
ロックパーツ
※両脚部は画像の支点を中心として回転させます。
※脚部付け根ジョイントは画像の位置で
取り付けます。
※画像はサイドアーマーを
取り外した状態で
説明しています。
脚部付け根
ジョイント
支点
①ガンポッドジョイントパーツを画像の矢印のように回転させます。
②ロックパーツを股間中央ブロックの凹部にセットします。
（凹部に先端を沿えて、主翼ブロックを支えます。）
※画像は脚部と腕部を取り外した状態で説明しています。
凹部
ロックパーツ
ガンポッド
ジョイントパーツ
②
①
支点
※肘関節を引き出すことで画像のようになります。
10
①両腕部を下ろします。
②肘関節を伸ばします。
③ブレードアンテナを画像の
位置まで回転させます。
①
②
③

注意 変形時にダイキャストの部分が他の部分に当たったり擦れたりすると、ボディの塗装がはがれるおそれがありますので注意してください。

「ディスプレイ」はP.14を参照

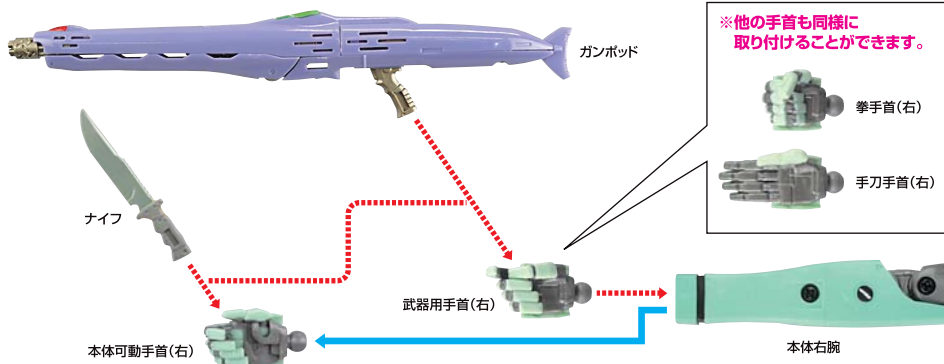
手首の交換と武器の装備

ガンポッド

ナイフ

武器用手首(右)

本体可動手首(右)

本体右腕

※他の手首も同様に取り付けることができます。

拳手首(右)

手刀手首(右)

ガンポッドの展開

①砲身を引き出します。

①

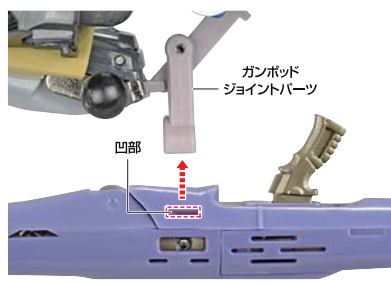
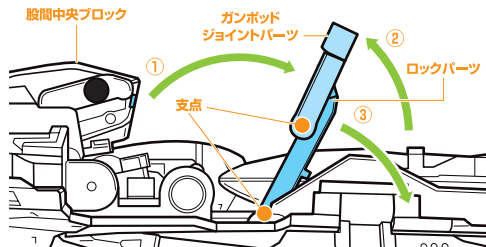
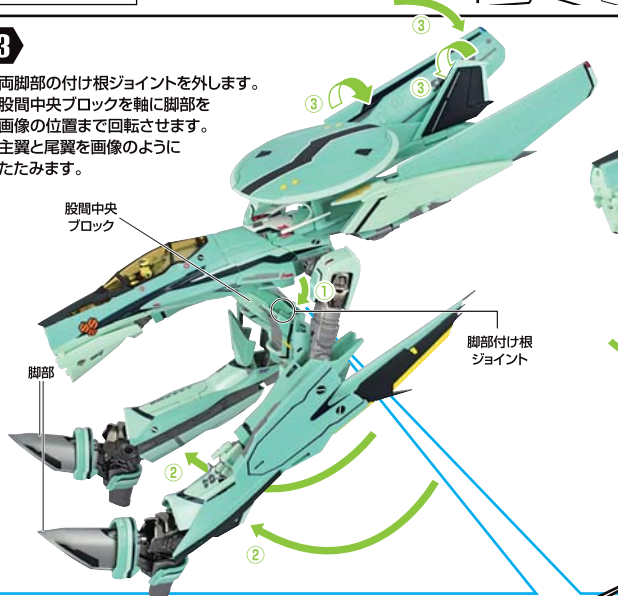
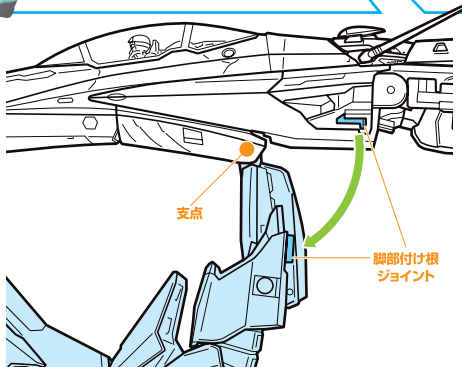
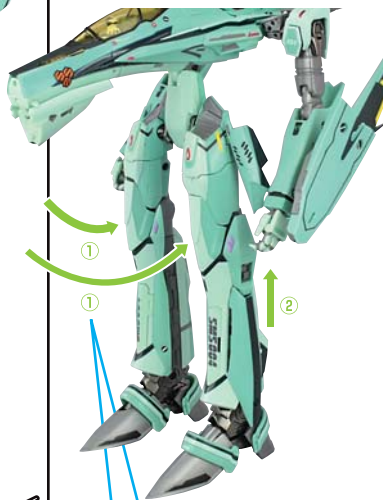
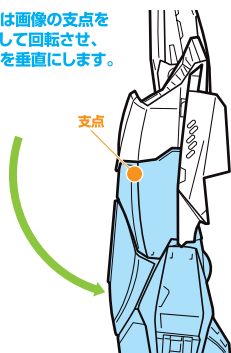
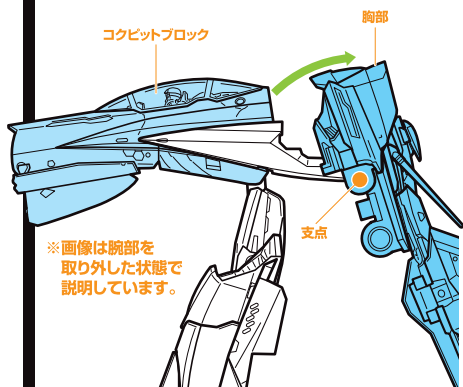
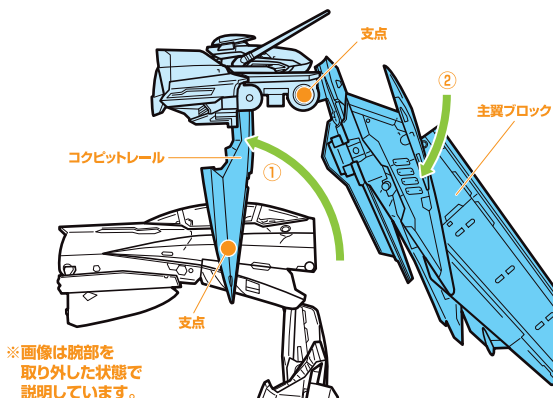
②砲身下部を後方へ回転させます。

②

ガンポッドのマウント

※ガンポッド側面の凹部をガンポッドジョイントパーツに取り付けることができます。

ガンポッドジョイントパーツ

凹部

バトロイド形態への変形 ※ガウォーク形態完成の状態から始めます。

5
胸部を矢印の方向に折り曲げ、
コクピットブロックと分離させます。
※胸部は画像の支点を中心として回転させます。

6
①コクピットレールを軸に胸部を引き上げます。
②主翼ブロックを画像の位置まで後方に折り曲げます。
※胸部と主翼ブロックは画像の支点を中心として回転させます。

7
胸部裏面から首基部ジョイントを押し上げ、頭部を引き出します。

※首基部ジョイントは画像のようになります。

◀ 胸部側面画像 ▶

◀ 胸部底面画像 ▶

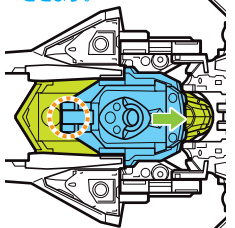
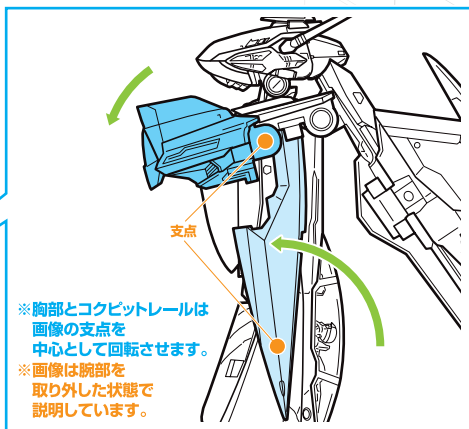
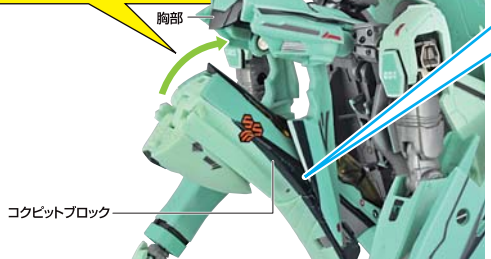
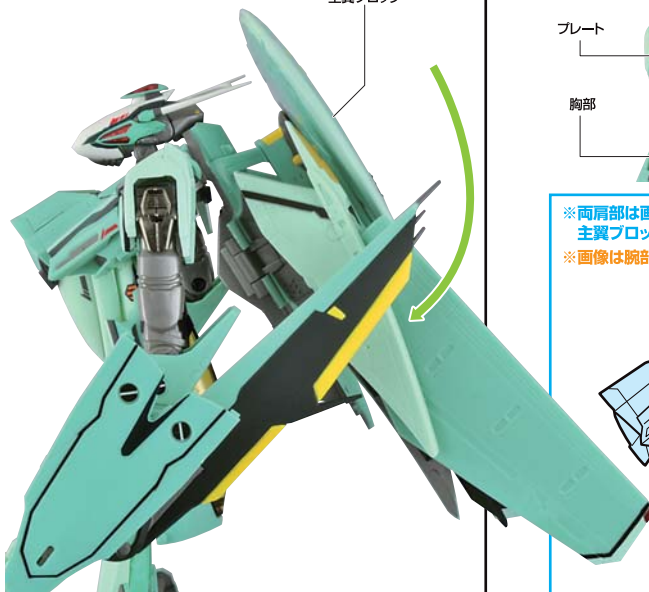
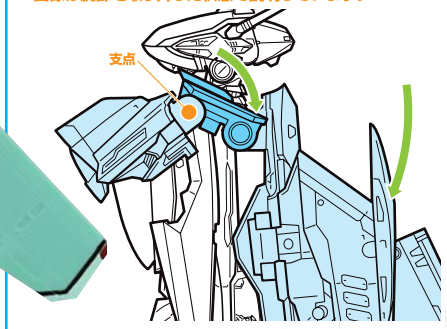
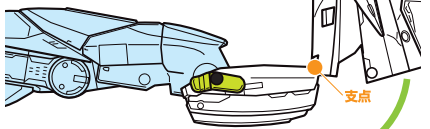
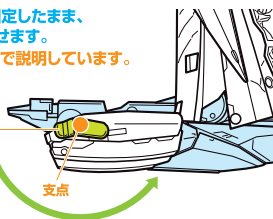
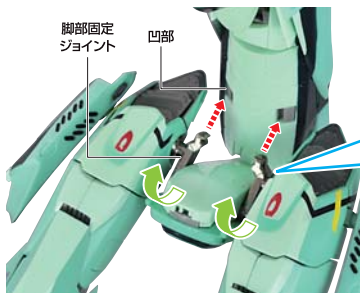
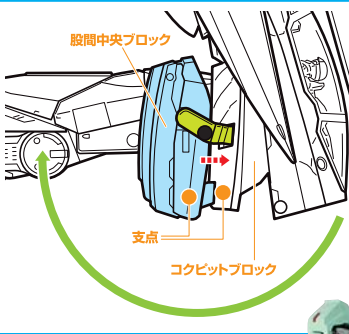
8
首を伸ばします。

9
①頭部を回転させます。
②アンテナを起こします。

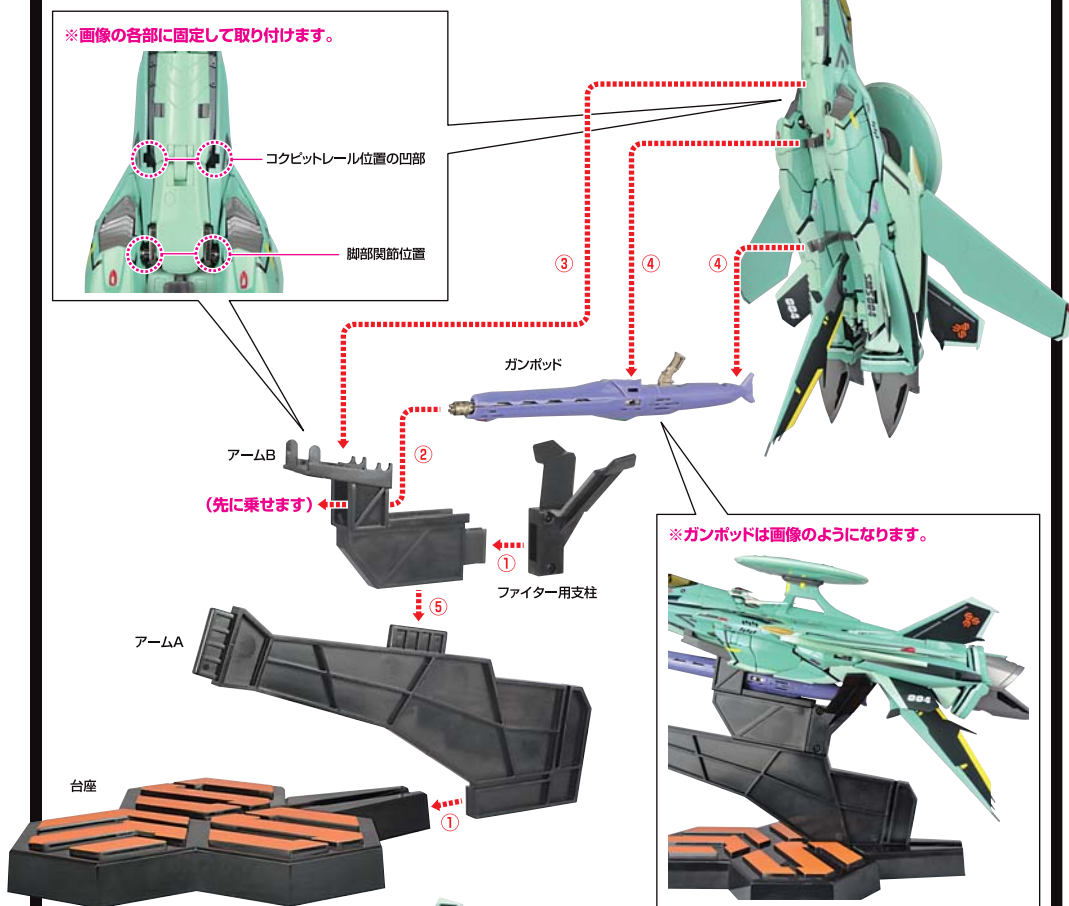
10
さらに胸部裏面から首基部ジョイントを
押し上げて首部台座を上方にスライドさせます。

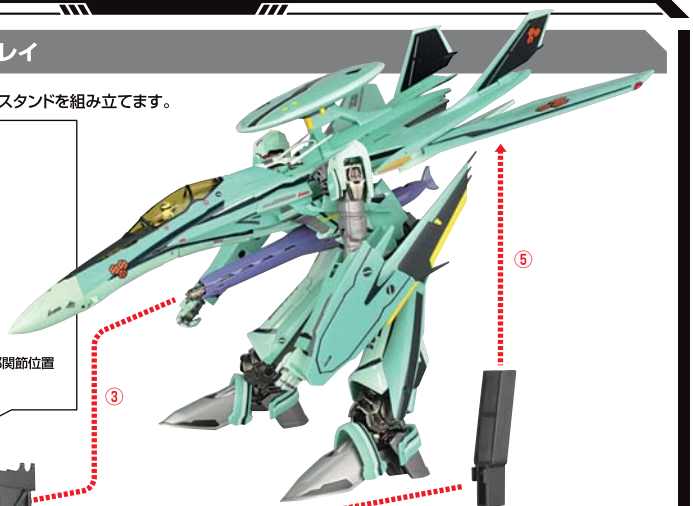
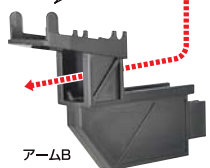
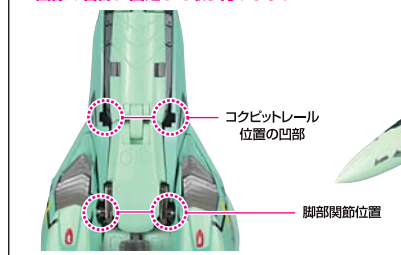
◀ 胸部側面画像 ▶

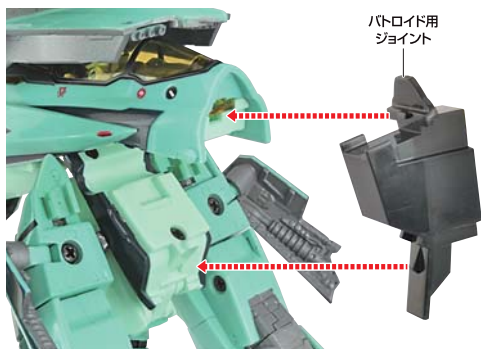
◀ 胸部底面画像 ▶

※首基部ジョイントは画像の
部分を押し上げてスライド
させます。

11 コクピットブロックを胸部に収納します。
コクピットブロックを胸部に
収納する時にコクピットブロック先端が
胸部に当たらないよう注意してください。
ボディが破損し、塗装がはがれる
おそれがあります。
胸部
コクピットブロック
支点
※胸部とコクピットレールは
画像の支点を
中心として回転させます。
※画像は腕部を
取り外した状態で
説明しています。
※画像のように
なります。
※コクピットブロックが画像の位置に収納されます。
コクピット
ブロック
12 主翼ブロックを折りたたみます。
主翼ブロック
13 両肩のプレートを下げて、
主翼ブロックをさらに
たたみます。
プレート
プレート
胸部
※両肩部は画像の支点を中心として回転させます。
主翼ブロックとコクピットブロックが平行になります。
※画像は腕部を取り外した状態で説明しています。
支点

14 両脚部を画像の位置まで股間中央ブロックごと回転させます。
両脚部を股間中央ブロックごと回転させます。
※画像は左脚を取り外した状態で説明しています。
支点
15 脚部固定ジョイントを固定したまま、両脚部を後方へ回転させます。
※画像は左脚を取り外した状態で説明しています。
脚部固定ジョイント
支点
※脚部は片脚を押さえ、交互に行うことで回転しやすくなります。
16 脚部固定ジョイントを引き出し、コクピットブロックへ取り付けます。
脚部固定ジョイント
凹部
股間中央ブロック
支点
コクピットブロック
股間中央ブロックを回転させて、脚部固定ジョイントをコクピットブロックへ取り付けます。
※画像の支点を中心として回転させます。
※脚部固定ジョイントは画像の位置で固定されます。
※画像は左脚を取り外した状態で説明しています。
17 両脚部を下ろし、画像のようになります。
18 コクピットブロック底面のジョイントを外します。(腰が浮いて腰関節の可動域が広がります。)
完成!!
「ディスプレイ」はP.15を参照
注意
変形時にダイキャストの部分が他の部分に当たったり擦れたりすると、ボディの塗装がはがれるおそれがありますので注意してください。

ディスプレイ

■ ファイター形態のディスプレイ

矢印の順番でファイター形態用のディスプレイスタンドを組み立てます。

■ ガウォーク形態のディスプレイ

矢印の順番でガウォーク形態用のディスプレイスタンドを組み立てます。

■ バトロイド形態のディスプレイ

1 バトロイド用ジョイントを取り付けます。

2 バトロイド形態用のディスプレイスタンドを組み立て、
バトロイド形態を取り付けます。

アームA

台座

完成!!